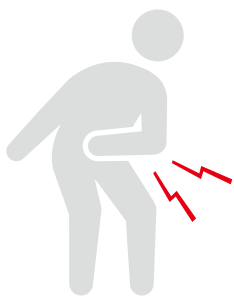




教えてドクター！



# 実は誤解しているかも？ 腹痛のポイント

教えてくれるのは

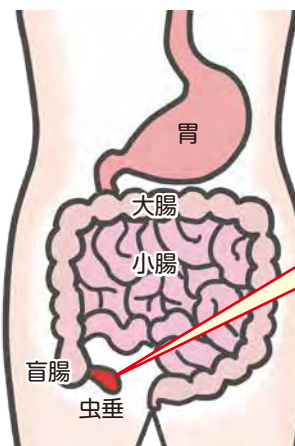
松下記念病院 消化器内科部長 鎌田 和浩先生



## みぞおちが痛くても胃が痛いとは限らない？

みぞおちには神経が集まっているため、いろいろな場所の痛みを感じることがあります。たとえば急性虫垂炎（一般に盲腸と呼ばれる）でも、最初のみぞおち周辺が痛みます。

また、みぞおちが痛い「胃が荒れているのかな？」と思うことがあるかもしれませんが、多くの腹痛は胃や腸といった食べ物の通り道が荒れているのではなく、臓器の動きのバランスが崩れていることが原因で起こります。



虫垂の炎症でも、最初のみぞおち周辺が痛む

## 腹痛の種類

主に「内臓痛」と「体性痛」があります。

体性痛の方が緊急性が高いことが多い

	内臓痛	体性痛
原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>消化管の収縮、伸展、けいれんなどによって起こる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内臓をとりまく腹膜や腸間膜（腸と腸の間にある膜）などに分布している神経が刺激されて起こる</li> </ul>
痛みの特徴	<p>波のある痛み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>痛みの部位が明確でなく、周期的にお腹全体がなんとなく痛いという鈍痛</li> <li>吐き気や悪心、冷や汗といった症状を伴うことがある</li> </ul>	<p>継続した痛み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>刺すような鋭い痛み（<small>せんつう</small>疝痛）が持続的に続く</li> <li>内臓痛よりも痛みの部位がはっきりしている</li> </ul>

## 危ない腹痛は？

腹痛の感じ方には個人差があり、痛みの程度だけで原因疾患の重症度を判断することは困難ですが、以下の項目が当てはまる場合には重症である可能性が高く、注意を要します。

- ① 腹痛がすぐに激痛となる
- ② 吐下血や黄疸、発熱などの症状を認める
- ③ 腹痛が出現してから便やガスが出ない
- ④ 歩くと痛みが響く
- ⑤ 数カ月で体重が減った
- ⑥ 痛みのため目が覚める



これらが当てはまる項目が増すほど重症である可能性が高いため、早めに医療機関を受診しましょう。

## 医療機関にかかるときのポイント

下記の情報を基に腹痛の原因を判断するため、医療機関にかかる際は医師に伝えられるようにしましょう。



### お腹はいつから痛いか

- 突然痛くなったのか？  
(どれくらいの時間が悪くなったか)
- 痛みは繰り返しているか？



### 時間経過はどうか

- 痛みは徐々に悪化しているか？
- 持続時間はどれくらいか？
- 痛みのピークはいつか？



### どんな痛みか

- 刺すような痛みか？
- ずっと続く痛みか？
- 波のように繰り返す痛みか？

## 検診のススメ

胃がんや大腸がんは、早期の段階では無症状のことが多いです。早期発見すれば体に負担の少ない形での治療の可能性が広がるため、案内があれば検診を受けましょう。

### 【現役従業員の方】

定期健康診断の際、45歳以上の方に胃がん検診(胃部X線検査)を、40歳以上の方に大腸がん検診(便潜血反応検査)を実施しています。また20・25・30・35・40歳の方には、胃がんのリスクを調べるヘリコバクター・ピロリ抗体検査を実施しています。

### 【40歳以上のご家族&OBの方】

パナソニック健康保険組合がご用意している健診コースのうち「おすすめ健診コース」「ドック健診コース」には、胃がん検診・大腸がん検診が含まれています。ぜひご活用ください。

詳細は  
こちら↓



詳細は  
こちら↓

